

切磋琢磨Ⅲ

校長室だより

R2. 5.29 第6号

通常授業が始まります。「3密」をさけ、緩やかに生活を再開します。

6月からは通常授業がスタートします

2週間の学校再開準備期間を本日で終わりました。これまでの休校・準備期間のご協力に感謝申し上げます。来週から通常授業が再開です。この2週間の様子を見てきました。少しずつ生活リズムは戻ってきてはいますが、今までのように順応するにはまだ時間がかかるのではないかと実感しています。

今後、子どもたちの様子を見ながら教育活動は緩やかに再開していく予定です。なお、1年生は、6月2日までは3時間授業で下校します。もうしばらく★印までお迎えにご協力ください。

「3密」を避けるために

学校生活は集団で行われます。そのため「密」を避けることがかなり難しい状況ですが、子どもたちの安全のために、コロナ感染防止に最大限の努力をしなければなりません。そこで、学校生活は「新たな生活スタイル」で行います。

1 健康観察の徹底

- ① すべての児童と教職員が検温や風邪の症状について確認して生活します。毎朝、お子さんの検温を必ずし、チェック表に記入してもたせてください。熱やだるさ等、風邪の症状などがある場合は登校を控えてください。その場合は、「出席停止」となります。
- ② 手洗いをこまめに行います。手をふくタオルやハンカチは個人持ちです。清潔に保ってください。
- ③ 免疫力を高めるために、十分な睡眠とバランスのとれた食事を心がけてください。

★「元気もりもりカード」は6月1日が提出締め切りです

2 「3密」を防ぐための工夫

① 密閉

常に換気に心がけます。今後、エアコンを使用する際も、天窓や2方向の扉や窓を開けて空気を通します。

② 密集

1学期中は、行事は中止または延期とし、全校や学年が集まることはできるだけ控えます。集団で集まる際は、距離を十分にとります。

- ・授業：グループ学習をなるべく控え、学習活動や形態を工夫して行う。
- ・給食：検温や消毒を徹底し、前向きで静かに食べる。配膳の工夫で、密集しないように工夫する。

③ 密接

学校内では、原則としてマスク着用で過ごします。子どもたちには、密接しないように日々声かけをしています。

休み時間も、手洗い場やトイレなどで児童が密接しないように指導します。

※低学年の「フッ素洗口」はしばらく見合わせます。

なお、今後は熱中症対応も考えていかなければならなくなります。マスクの着用等、状況に応じて指導や工夫を検討します。

教職員が児童下校後に、教室・トイレ・手洗い場その他必要な箇所の消毒を毎日行っています。安心・安全を第一に考えて、活動に制限することもあります。どうか、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

授業を行うにあたりご理解を

授業再開にあたり、学習の遅れが心配だという声をよく聞きます。本校では6月からの授業時間数を計算した上で、各学年の教育課程の組み直しを行いました。行事を削減することで生み出された時間もあり、工夫することで、保護者のご心配を軽減できることもわかりました。学年によって対応は異なりますが、以下の視点で教育活動を行います。

＜考え方の基本＞

授業時数をこなすこと【量】ではなく、子どもたちに「身につけてほしい力」を把握し、単元構想を組み立てて授業【質】を大切にします。教科書は教師が説明し指示を与えるものから、子どもたちが主体的に学習するためのハンドブックであるという発想の転換です。そして、力を定着させるために必要な単元を抜粋して行います。

また、1つの教室に40名近くの児童が入ることや、第2波が来ることを想定した対応も考えています。すべての空間での身体的距離の確保が難しい状況の中、感染防止対策を徹底するために、次のような方法をとることがあります。

- ①教科書の順番を入れ換えて、授業を行う教科があります。前年度できなかった内容も、併せて指導します。
- ②実技教科や実験等は「3密」を防ぐために、活動の制約が大きくなることが予想されます。

※休校中に家庭で培ったノウハウを、ぜひこれからの生活にも生かしてください。ご家庭のサポートは子どもたちの「生きる力」の源となります。